

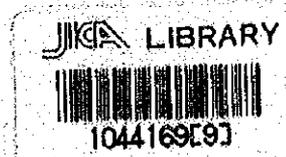
昭和51年度帰国研修員巡回指導

中近東電気通信班 巡回指導報告書

国際協力事業団
研修事業部

昭和51年度帰国研修員巡回指導

中近東電気通信班 巡回指導報告書



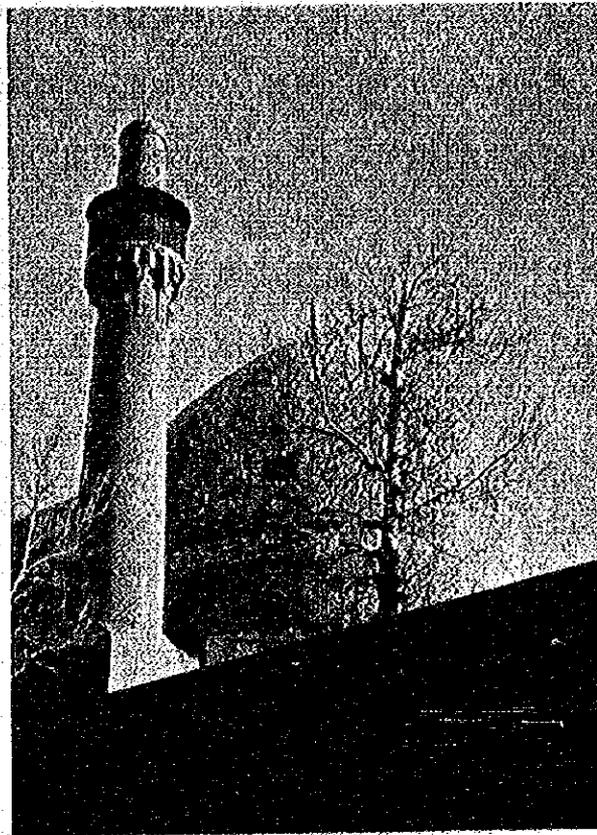
国際協力事業団
研修事業部

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 3. 16	305
登録No. 00440	64.7
	TAE



昭和51年度帰国研修員巡回指導

中 近 東 電 気 通 信 班
巡 回 指 導 報 告 書



国 際 協 力 事 業 団
研 修 事 業 部

ま え が き

この報告書は、国際協力事業団が実施している電気通信関係集団コースに参加した帰国研修員に対するアフターケアの一環として、昭和52年1月27日から2月13日までの18日間、イラク、イラン、トルコの3か国に派遣した中近東電気通信巡回指導班の業務報告である。

本書により帰国研修員の活動状況、彼らが抱えている諸問題、各国の技術的發展段階などについて関係各位のさらに深い理解をいただく為の一助となれば幸いである。

なお、本指導班派遣に際し並々ならぬご協力を賜った外務省、郵政省、日本電信電話公社及び現地において数々の御協力を賜った在外公館の各位に深い感謝の意を表したい。

昭和52年3月

研 修 事 業 部

目 次

I 巡回指導の概要

1 派遣の目的	1
2 団員構成	1
3 派遣国及び期間	1
4 行動日程	1
5 調査方法	4
6 調査概要	4

II 電気通信幹部セミナー及び集団研修コースの概要

1 電気通信幹部セミナー	7
2 マイクロウェーブ・コース	7
3 搬送電話コース	7
4 電話線路コース	7
5 電話交換コース	7
6 研修員受入れ概要	8

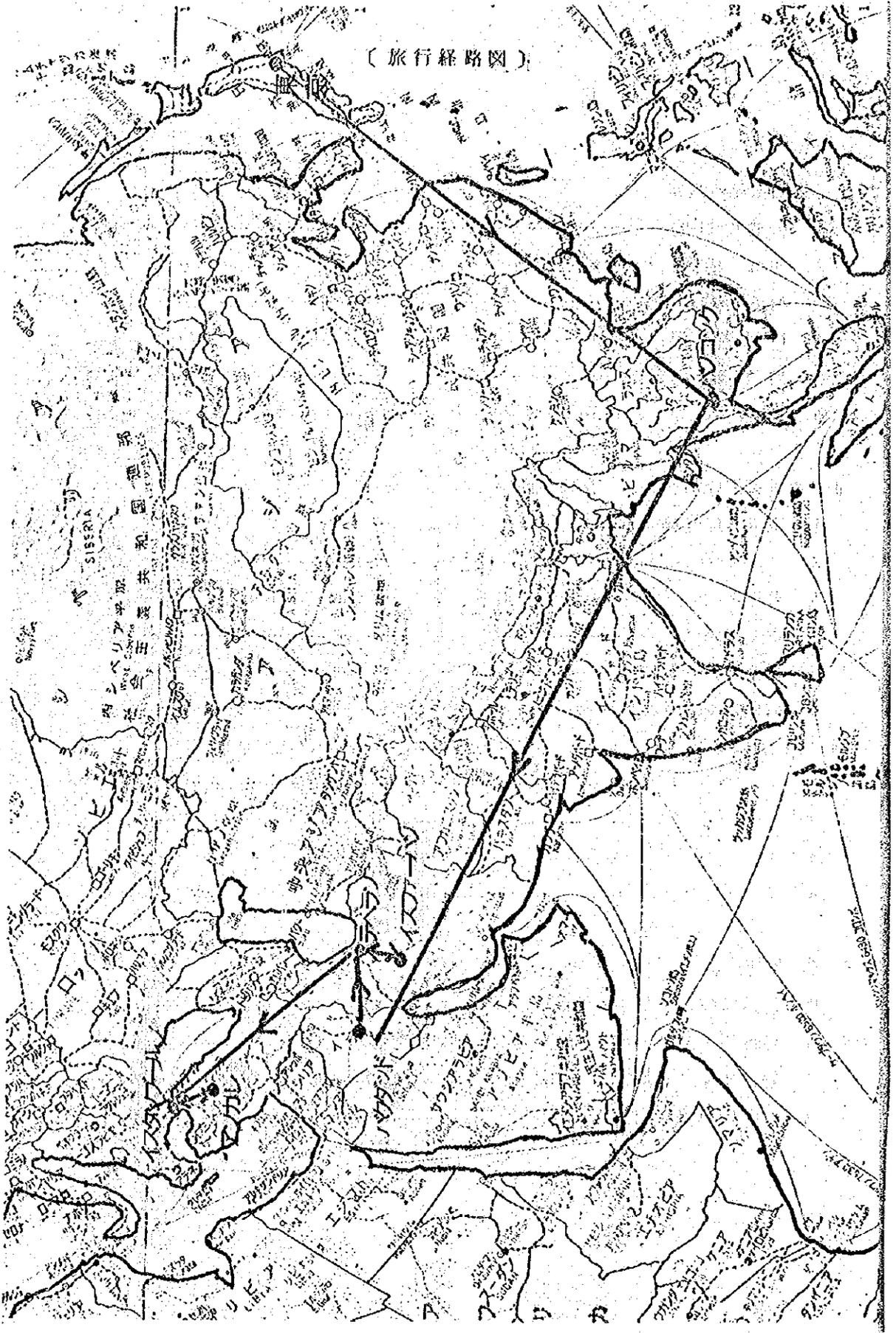
III 調査内容

1 イ ラ ク	9
2 イ ラ ン	19
3 ト ル コ	26
4 結 び	35

参 考 資 料

1 帰国研修員に対する質問書	39
2 年度別・国別・コース別研修員受入れ数一覧	41
3 帰国研修員名簿	43
4 在外公館等訪問先及び面接者一覧	53

(旅行経路図)



I 巡回指導の概要

1 派遣の目的

本巡回指導班は、帰国研修員に対するアフターケア事業の一環として、次の5つのコース（電気通信幹部セミナー、マイクロウェーブコース、搬送電話コース、電話線路コース、電話交換コース）の帰国研修員、その所属機関及び当該研修分野の関連機関を訪問し、研修分野での当面する技術的問題について意見を交換するとともに、研修員の帰国後の実態、電気通信関係集団コースに対する評価、要望を把握することにより、今後の研修内容、研修員受入事業の改善に資することを目的として派遣されたものである。

2 団員構成

日本電信電話公社 海外連絡室 調査役	小 郷 次 男
郵政省大臣官房文書課国際協力室 第二国際協力係	麦 島 正 靖
国際協力事業団 研修事業部 研修第一課	栗 原 勉

3 派遣国及び期間

イラク、イラン、トルコの3か国

昭和52年1月27日から昭和52年2月13日まで（18日間）

4 行動日程

1月27日（木）

10:25 東京発 JAL(465便)

17:50 バンコック着

1月28日（金）

21:30 バンコック発 イラク航空(430便)

1月29日（土）

06:00 バグダッド着

10:00～13:30 イラク通信省電気通信訓練センター見学及び意見交換

13:45~14:30 在イラク大使館表敬

1月30日(日)

10:00~10:30 イラクP T T総裁表敬

10:30~13:30 研修員派遣担当者との意見交換

15:00~17:00 帰国研修員との懇談

1月31日(月)

08:50 バグダッド発 イラク航空(104便)

11:00 テヘラン着

12:00~16:00 在イラン大使館表敬及びJICA事務所打合せ

2月 1日(火)

10:00~11:00 イラン電気通信研究センター所長表敬及び意見交換

13:00~16:00 イランP T T訪問、意見交換

2月 2日(水)

10:00~10:20 イラン電話公社(TCI)総裁表敬

10:20~11:20 同社Outside Planning Dept.にて意見交換

11:35~12:50 同社Installation & Maintenance Dept.
にて意見交換

13:20~14:30 同社Wireless Dept.にて意見交換

2月 3日(木)

07:45 テヘラン発 イラン航空(213便)

08:25 イスファハン着

10:30~11:30 イスファハンMicrowave Area Manager 表敬
及び意見交換

2月 4日(金)

23:50 イスファハン発 イラン航空(230便)

00:35 テヘラン着

2月 5日(土)

10:00~12:10 イラン電気通信研究センター見学

12:30~15:00 帰国研修員と懇談

2月 6日(日)

06:25 テヘラン発 PA(111便)

08:00 イスタンブール着

09:00~18:00 イスタンブール → アンカラ

(トルコ航空ストのためバス利用)

2月 7日(月)

11:00~12:50 在トルコ大使館表敬

14:10~14:50 トルコPTT総裁表敬

15:00~16:00 運輸通信省次官補表敬及び意見交換

2月 8日(火)

10:20~11:00 アンカラ電話管理局表敬

11:05~13:00 アンカラ電話局見学

15:00~17:30 PTT電気通信訓練センター見学

2月 9日(水)

10:00~13:00 帰国研修員との懇談

13:30~22:00 アンカラ → イスタンブール

(トルコ航空ストのためバス利用)

2月10日(木)

09:30~10:15 在イスタンブール総領事館表敬

10:45~12:30 PTT電気通信研究開発センター見学及び意見交換

16:15~18:00 イスタンブール電話管理局長表敬及び意見交換

2月11日(金)

10:00~11:00 イスタンブール国際電報電話管理局長表敬及び見学

12:30~15:00 帰国研修員との懇談

15:00~16:45 イスタンブール電話管理局幹部との意見交換

2月12日(土)

16:25 イスタンブール発 PA(110便)

20:40 テヘラン着

21:30 テヘラン発 PA(002便)

2月13日(日)

15:00	ホンコン着	
17:30	ホンコン発	JAL(718便)
22:00	東京着	

5 調査方法

巡回班の出発に先立ち、JICAから質問書をセミナー参加者および帰国研修員あてに事前を送付し、面接時までに回答を記載してもらうよう依頼した。調査対象者93名に対して、回収された質問表は18件、幹部を含め、訪問または面接できた者は63名であった。

今回の調査の重点は、先方の今後の研修上の『ニーズ』、要望を聴取すること、さらに日本の研修上の『ウィークポイント』を卒直に指摘してもらうことにおいた。

6 調査概要

前述のように、今回の巡回指導の対象範囲は電気通信幹部セミナー参加者および電気通信関係集団研修コース研修員合計93名にわたるものであった。出発に先立ち、調査対象者に対して質問状を送付した。しかし、実際には、調査対象者は訪問国の郵便事情、退職、転勤などの事情により、広く分散していたため、対象者の一部以外に政府計画によるその他の集団研修コース参加者、民間ベースの受入れによる研修員など、広い範囲にわたる研修員が参集、面接の機会を得た。訪問3か国の関係幹部をはじめ、帰国研修員63名との面談を通じて日本における研修全般について極めて親しい雰囲気の中で、フラクに意見を交換することが出来た。

指導班は、出発に先立ち事前に質問状（別添参考資料1）を帰国対象研修員93名（別添参考資料3）に送付した。

回収率は、表に示すように予想を下回り18通しか回収できなかった。しかしながら、今回の訪問を通じ、他の電気通信関係コースの参加者（その他の政府ベース及び民間ベース）での研修経験者にも多く面会でき、現状は握に役立ったことは、大きな収穫であった。

(1) イ ラ ク

研修コース名	リストアップした帰国研修員	質問書返信数	面接者数
電気通信幹部セミナー	3	0	0
マイクロウェーブコース	4	1	2
搬送電話コース	3	1	1
電話線路コース	5	1	0
電話交換コース	3	1	0
民間ベース			
その他の政府ベース			1
I T U	5	2	2
計	23	6	6

(2) イ ラ ン

研修コース名	リストアップした帰国研修員	質問書返信数	面接者数
電気通信幹部セミナー	5	0	2
マイクロウェーブコース	13	1	2
搬送電話コース	9	2	2
電話線路コース	8	1	3
電話交換コース	5	2	
民間ベース			2
その他の政府ベース			5
特設電話線路	11	2	4
計	51	8	20

(3) ト ル コ

研修コース名	リストアップした帰国研修員	質問書返信数	面接者数
電気通信幹部セミナー	3	0	2
マイクロウェーブコース	5	2	1
搬送電話コース	2	1	1
電話線路コース	5	1	3
電話交換コース			
民間ベース			7
その他の政府ベース			3
計	15	4	17

II 電気通信幹部セミナー及び集団研修コースの概要

1 電気通信幹部セミナー

電気通信幹部セミナーは、1965年に発足した。開発途上各国の電気通信主管庁又は電気通信企業体の局長級幹部を対象とし、我が国の電気通信の現状紹介と併せて、各国電気通信運営上の諸問題を提出討論し、各国の電気通信の発展に寄与することを目的とするセミナーである。(定員：10名、期間：2週間)

2 マイクロウェーブコース

マイクロウェーブコースは、1963年に発足した。マイクロウェーブ通信技術の導入、改善、開発に携わる技術者を対象とし、我が国のマイクロウェーブ通信に係る技術と知識を習得させることを目的とするコースである。(定員：15名、期間：3.5か月)

3 搬送電話コース

搬送電話コースは、1964年発足した。搬送電話の設計、すえ付け、保守等に関する最新の技術と知識を習得させることを目的とするコースである。(定員：15名、期間：3.5か月)

4 電話線路コース

電話線路コースは、1964年に発足した。最新の電話屋外施設について、その理論、設計、保守等に関する知識と技術を習得させることを目的とするコースである。(定員：15名、期間：3.5か月)

5 電話交換コース

電話交換コースは、1962年に発足した。クロスバー交換機を中心として、電子交換機を含む最新の電話交換設備に係る広範な知識を習得させるこ

とを目的とするコースである。(定員：15名、期間：3.5か月)

6. 研修員受入れ概要

参考資料2に、セミナー及び各コースの年度別・国別研修員受入れ数を示す。

Ⅲ 調査内容

1 イラク

1-1 イラクの通信事情等

イラクの国土は43.5万km²で、日本の約1.2倍、人口は約1,040万人である。国内・国際通信電話業務はPTTが実施している。

1970～1975年の電話網拡充5か年計画は1977年まで延長して実施中である。現在25万の加入者数であるが、1980年には50万加入を目標として通信網を整備拡張中であり、日本からの協力も活発となっている。

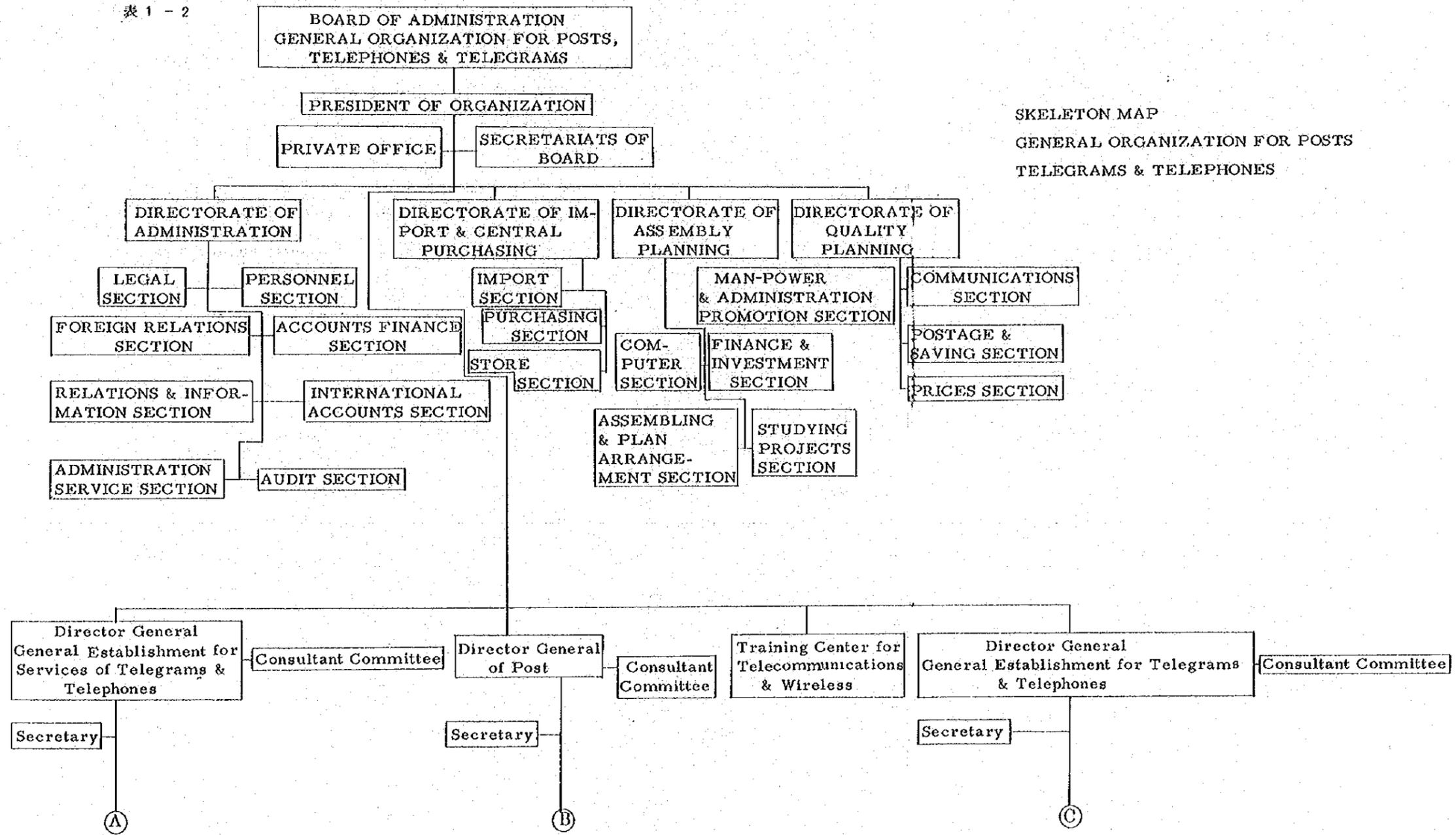
1-2 組織図

表1-2, A, B, C



IRAQ Telecommunication Training Centre

表 1 - 2



SKELETON MAP
GENERAL ORGANIZATION FOR POSTS
TELEGRAMS & TELEPHONES

表 1 - 2 - A

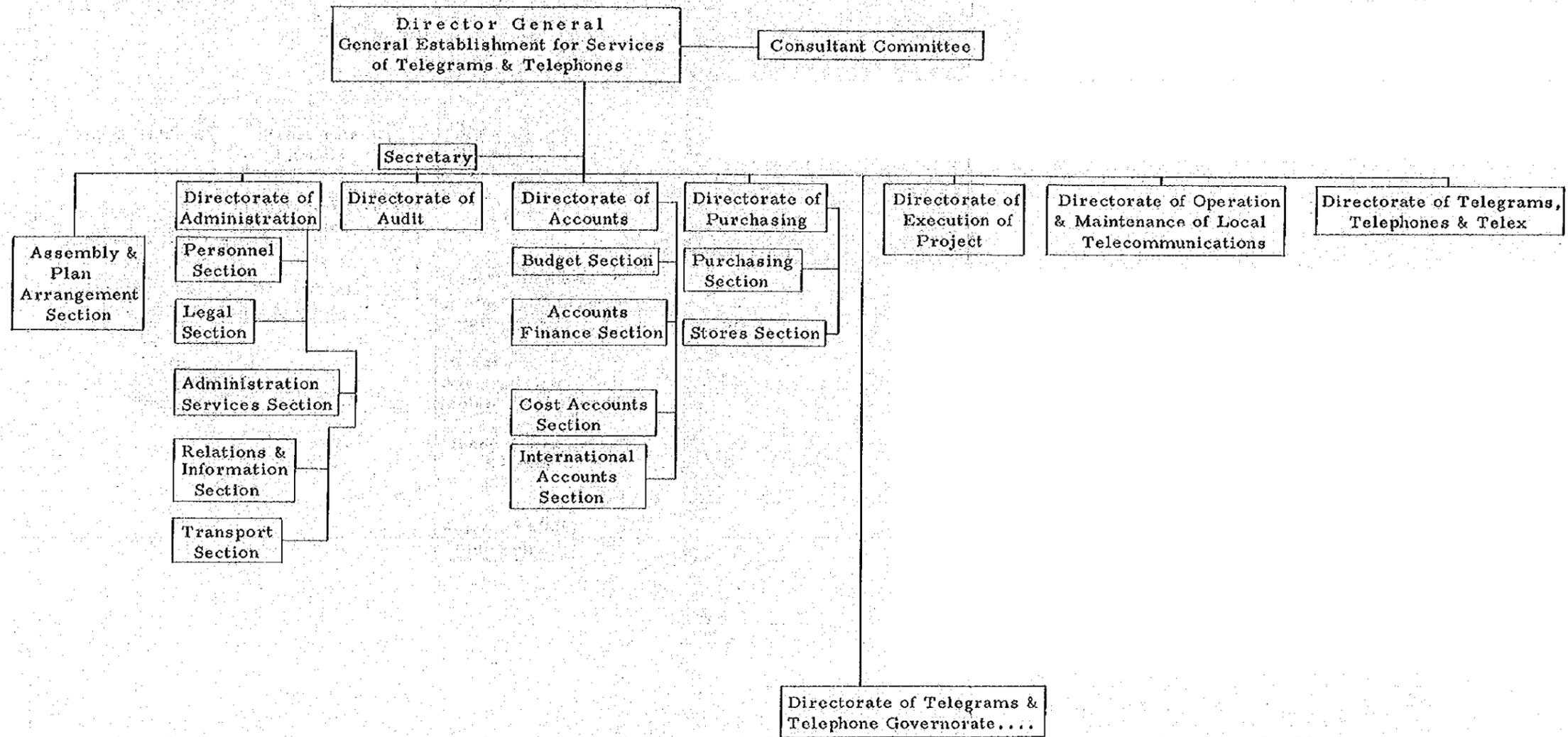


表 1 - 2 - B

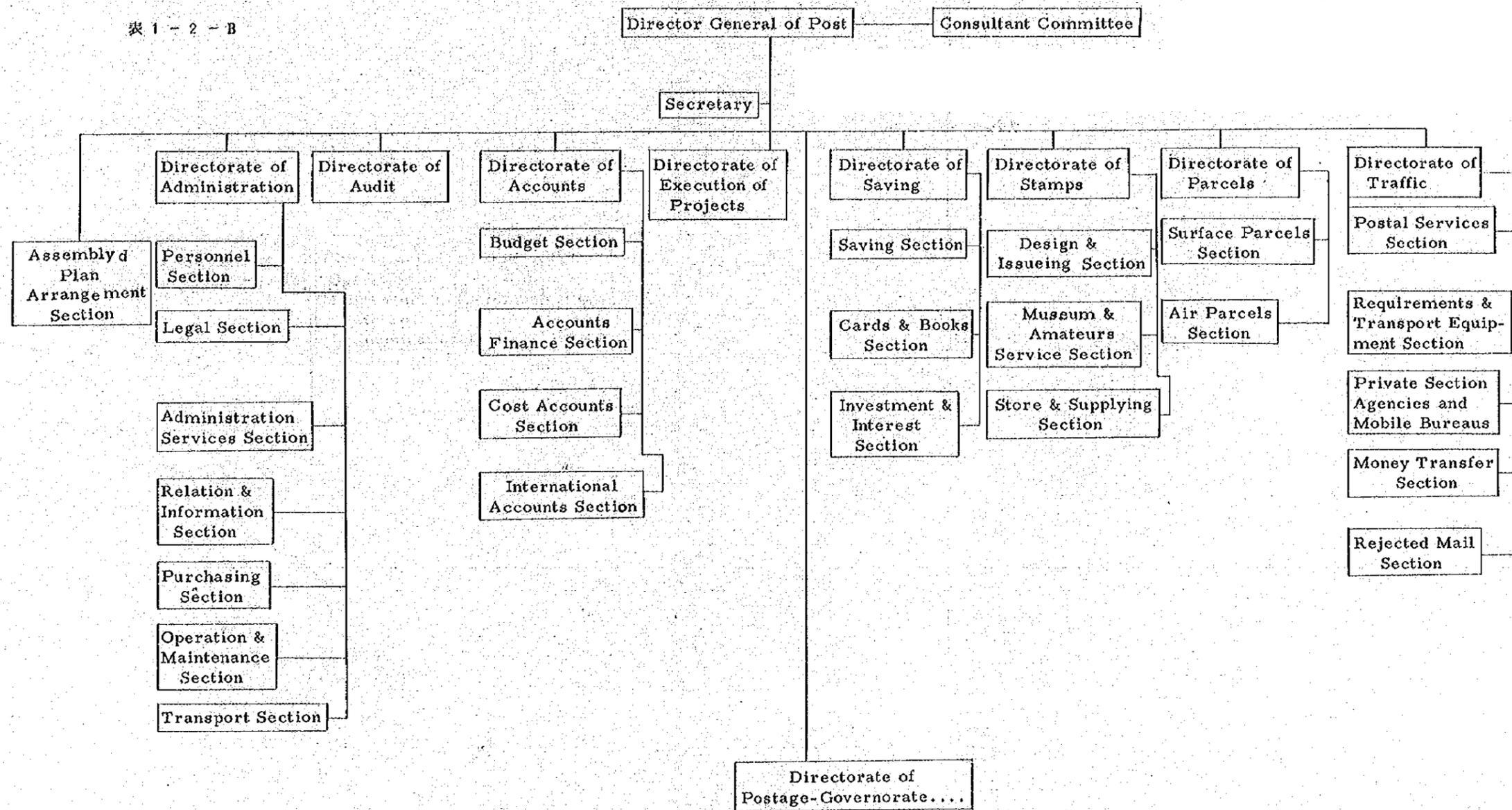
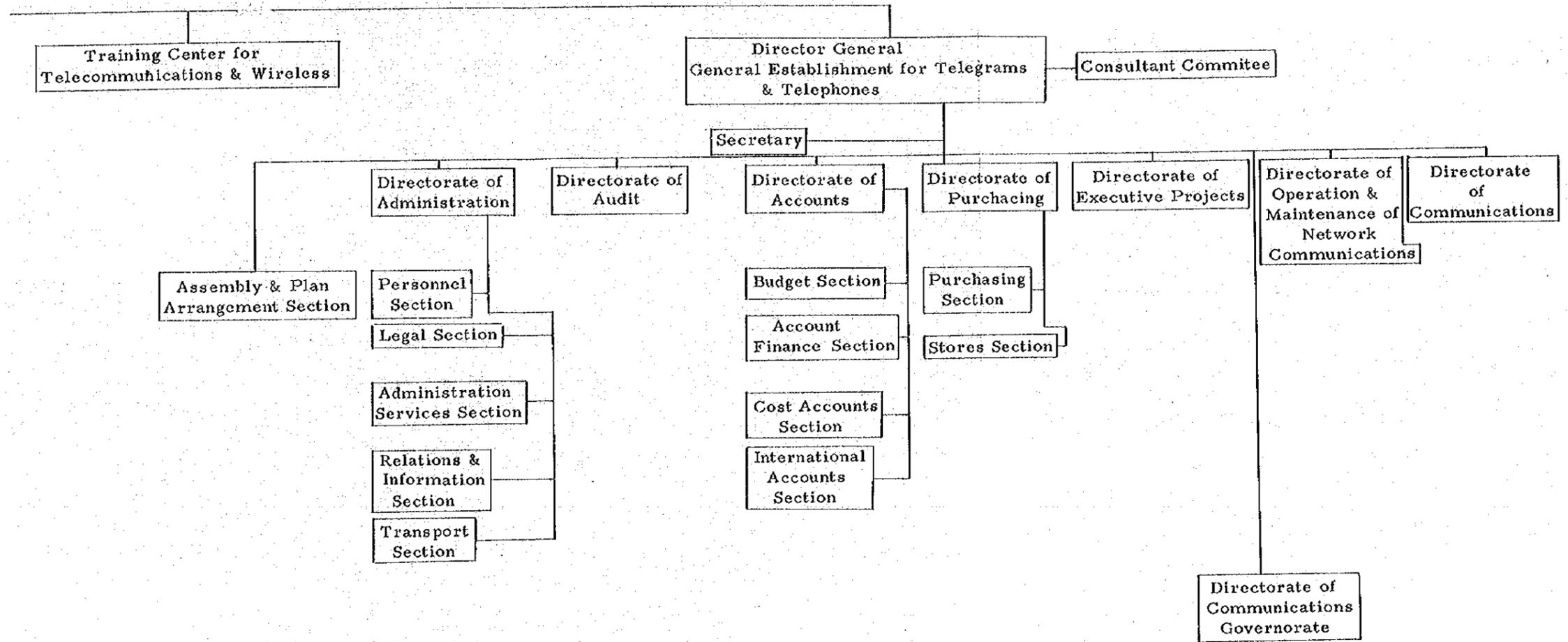


表 1 - 2 - C



1-3 面接者

○ イラク 郵電省

(Posts, Telegraphs and Telephones Administration)

- 1 Mr. Abud All Sattar Farman Director General of PTT
('75 来日)
- 2 Mr. Abdul Jabbar Hassan Khalaph Director of Quantitative Planning
('69 電話線路
'73 衛星通信
'75 民間 ベース・マイクロ
ウェーブ)
- 3 Mr. Sabah D. Dawisha In Charge of Fellowship
(Administrative Duties)
- 4 Mr. Khalad Director of Technical Office

○ イラク 電気通信訓練センター

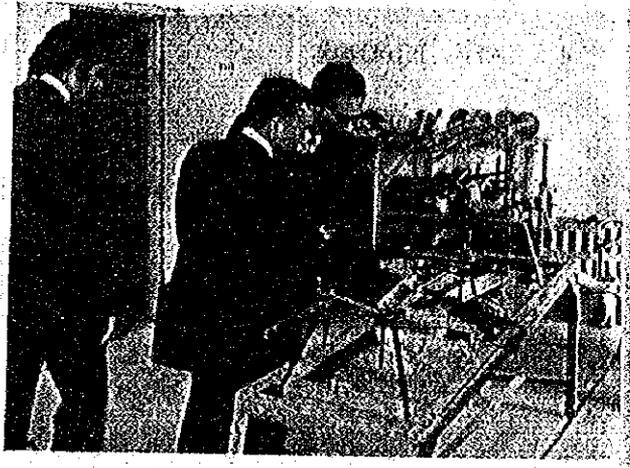
(Telecommunication Training Centre)

- 1 Mr. Isam F. Wasif Assistant Director of Telecommunication Centre
- 2 Mr. Adnan Chaichan Al-Khafaji Head of Transmission Section
('68 ITU
'75 ITU)
- 3 Mr. Nayle Yacoud Mansour Lecturer, Microwave Section
('74 ITU
'76)
- 4 Mr. Benyamin Yaco Sarmis Instructor, Microwave Section
('76)
- 5 Mr. Salih-Seloom K Instructor, Microwave Section
('76)
- 6 Mr. Saad Elwee Hassan Instructor, Network Section
('75 ITU)



1月29日
電気通信訓練センターにて

1月29日
電気通信訓練センター
線路実習室



1月29日
電気通信訓練センター
授業風景

1-4 調査内容

イラクでは、PTT総裁（Farman氏）をはじめ10名の幹部および帰国研修員と面談する機会を得た。Farman氏は約1年前イラク石油会社からPTT総裁として迎えられた。なお、同氏は、1975年のWorld Oil Conferenceに出席のため来日された人であり、次のように述べた。

イラクの通信施設は最近急激に拡張されており、特に日本製の交換機等が設置されているので、年間10名程度の研修を日本で実施されたい。

参加研修員の決定方法については、選考委員会によって関係分野から候補者を推薦している。さらに、研修終了者に対しては帰国後の勤務成績に応じてケース・バイ・ケースで人事を行なっている。

1-5 要望事項

- (1) 今後、年間10名程度の研修を希望する。分野としては、PCM、搬送、マイクロ、クロスバーおよび電子交換機、ならびに高度な電話網計画である。
- (2) フランスにも研修コースはあるが、日本での英語による研修が望ましい。これは教材は全部英語となっているためである。（LL設備もあって語学に力を入れている）
- (3) 訓練センター教官の再研修（レベル・アップ）を実施してもらいたい。センターには、12名のEngineerおよび20余名のInstructorがおり、新技術を習得するには再研修が効果的である。
- (4) 研修員の割当てには、訓練センターの教官を優先的に指名されたい。
- (5) 現在1国1名主義で日本政府がオファーしているが、同時に数名のオファーを希望する。
- (6) 参加決定通知は、コース開始前少なくとも2か月前に行なわれたい。これは訓練センターでの担当コースの日程等業務の都合があるためである。

- (7) 各集団研修コースの研修期間を延長されたい。例えば、マイクロウェーブコースで各科目を理解するには4～4.5か月の講義を要し、また実習期間の3週間を倍加すれば研修効果がますます上がると思われる。
- (8) 技術資料を継続して送付されたい。国内での専門書は入手が困難であるので、日本からの英文資料（NTTのJTR、ECLレビューなど）は貴重である。特に伝送、線路関係の最新の技術に関心を持っている。
- (9) JICA支給の滞在費を増額されたい。言うまでもなく東京の物価は高いからである。また別途通信費を支給されたい。

との要望があった。

1-6 研修コースに対する評価

- (1) 実習時間が常に不足している。これは研修期間そのものが十分でないために当然の結果として現われるものである。
- (2) 研修員の能力に格差（バラツキ）があり過ぎる。この結果として、特に講義に際して関心の度合が大きく異なってきたり、双方にとって研修効果がなくなる。（この格差はEngineerとTechnician、また国と個人差により生じているものである。）
- (3) 講師の語学力（英）が不足している場合がある。語学力は年々向上している点は認められるが、授業の難しさは残っている。
- (4) コーディネータの技術知識の不足はコースの進行に支障をきたすこともある。極めて熱心、かつ親切なコーディネータ達であるが、或る程度の専門知識は研修管理上欠かせないものである。

2 イラン

2-1 イランの通信事情等

イランは1億5千万人の広大な国(日本の4.3倍)で、人口は約3,300万人である。電気通信の管理機関はP.T.T、運営体としてイラン電話公社(T.C.I.)が国内・国際電信電話業務すべてを担当している(職員数25,000人)。石油収入により急速な経済成長が電気通信設備の拡張を必要としており、米国、日本などの協力が各分野で強力に行なわれている。全国で約60万の加入者サービスのうち、その約半数が首都テヘランに集中している。

2-2 組織図

表2-2-1

イラン郵電省組織図

Ministry of Posts, Telegraphs and Telephones (P.T.T.)

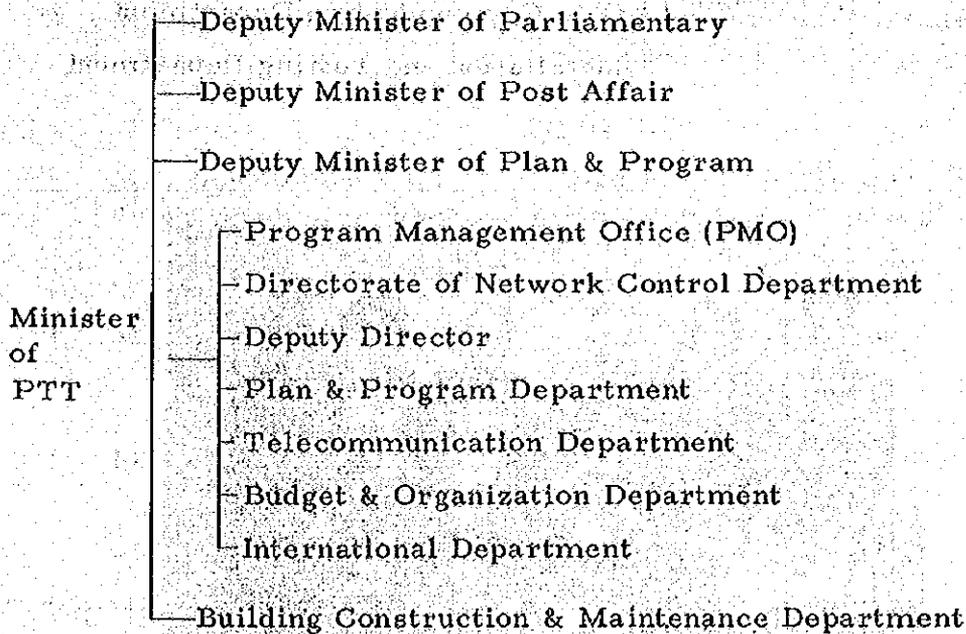
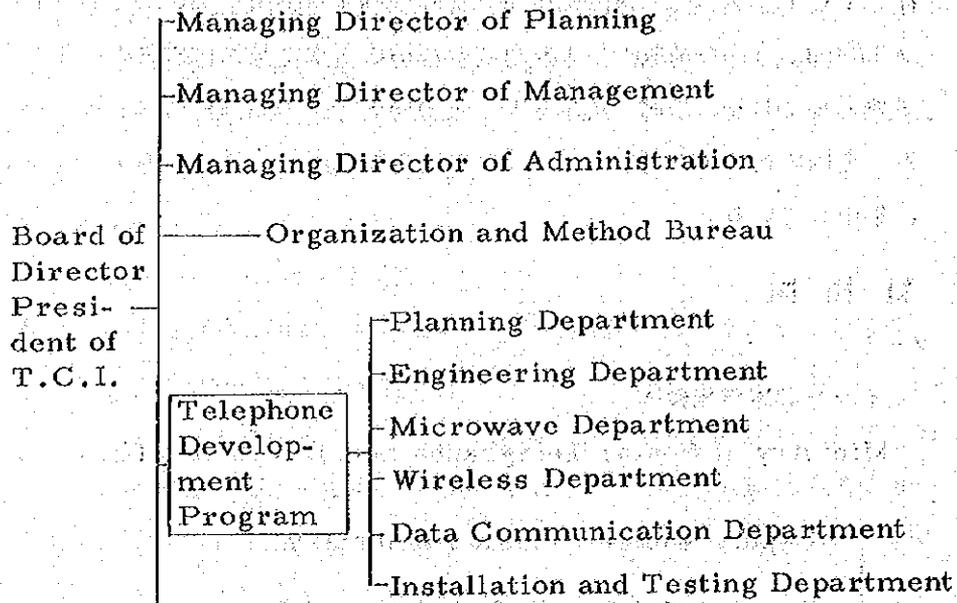


表2-2-2

イラン電話公社組織図

Telecommunication Company of Iran (T. C. I.)



2月2日 イラン電話公社にて

2-3 面接者

- イラン電気通信研究センター
(Iran Telecommunication Research Centre)
 - 1 Dr. Kamal Taba Chief of Iran Telecommunication Research Centre
('76 来日)
 - 2 Mr. Akbary Assistant Chief
('75 来日)
 - 3 Mr. Behrooz Jarrahi Research Engineer
('76 搬送)

- イラン郵電省
(Ministry of Posts, Telegraphs and Telephones)
 - 1 Mr. Hassan Mansoorshahi Director, Project Support Dept., PMO
('75 電気通信幹部セミナー)
('72 電話線路)
 - 2 Mr. Naderi Abolghassem Assistant Director, Integrate National Telecom. Dept., PMO
('67 民間ベース)
 - 3 Mr. Mohammed Taghi Jajalmi Director of Installation, Test and Acceptance Dept., PMO
('67 民間ベース)
('71 ")
 - 4 Mr. A. Moossavi Special Project, PMO
('72 民間ベース)
('76 ")
 - 5 Mr. H. Baderkhani Maintenance, Operation and Training, PMO

- イラン電話公社
(Telecommunication Company of Iran)
 - 1 Mr. Malik Abhari President
 - 2 Mr. Karliman Chief of Outside Planning Dept.

- 3 Mr. Abbas Karimy Yazdy Network Planning Expert ('76 電話線路)
- 4 Mr. Manuchehr Edalatian Toussi Network Planning Expert Local Cable Planner ('76 電話線路)
- 5 Mr. Fazlollah Torabi Head of the Junction Cable Planning Division ('76 電話線路)
- 6 Mr. Smaeil Shekarriz Network Planning Expert, Local Cable Planner ('76 電話線路)
- 7 Mr. Sarjughii Director General, Installation and Maintenance Dept.
- 8 Mr. Abbas Fatemi Head of Installation Section ('72 マイクロウェーブ)
- 9 Mr. Ahmad Saboumi Kashani Head of Maintenance Office ('70 民間ベース マイクロウェーブ)
- 10 Mr. Mohammad Shahidzadeh Mahani Head of Microwave Section ('70 民間ベース ('77.3. 幹部セミナー参加))
- 11 Mr. Mehdi Waleh Director General of Wireless and International Telecommunications Dept. ('67 マイクロウェーブ)

○ イスファハン地区 マイクロウェーブ管理局

- 1 Mr. Mohsen Khunsari Chief Officer, Esfahan Area Manager, Planning Management Organization, PTT

2-4 調査内容

イランではP T T幹部、T C I総裁および各機関の研修員20名と各所属機関ごとに面談した。総裁(Malik Abhari氏)は近く、特設線路コース参加者として5名の技術者を派遣したいとの意向を表した。

イランにおいても、日本における研修に対して極めて強い関心を示している。特に、T C Iでは研修終了者のうち、10人程度が幹部として活躍しており、日本での研修を高く評価している。帰国後は昇級・昇格させる制度になっている。また、電気通信研究センターでは、17名の研究員が日本で研修を受けたが、そのうちの5名がさらに英国で研修中である。相当数の研究員が帰国後、民間会社へ高いサラリーを求めて退職するので、職員に定着性がないのが実状である。

2-5 要望事項

- (1) 特設線路コース研修員として6か月以内にT C Iの上級技術者5名を派遣したい。このコースでは、P C M、伝送損失、地下配線ケーブル、同軸ケーブル方式、中継ケーブル方式および土木施設の設計を中心とする研修を希望している。
- (2) 研修コースは三段階の技術レベルに分けた方が研修効果が期待できる(例えば、Technician、Technician(上)、およびEngineerレベルの如く)。
- (3) 研究センターのEngineerに対しては集団研修コースは不適當であり、学歴と能力に応じた個別研修が是非とも必要である。特に、テヘラン大学出身者はレベルが高いので、集団コースでの画一的な研修は好ましくない。
- (4) 研修期間については、研修員に技術的満足感を与えるに足りる期間延長を希望する。これは前記のイラク国と大体同じ考え方である。
- (5) 研修コース中に試験制度を設けられたい。研修員は両国の投資によって学ぶ立場にあり、研修期間中に厳しさが要求されるのが本来の姿である。従って、定期的にテストを実施するとか、Final Reportの代り

に試験を実施し、その結果を本国関係機関に直接通知するのも一つの方法である。

- (6) 滞在費を増額してもらいたい。(高物価の日本という点で前記のイラクと一致した見方である。)

との要望意見があった。

2-6 研修コースに対する評価

- (1) 1976年に派遣された特設線路コース研修員(11名)の人選に際しては、イラン側で人選を誤ったため、期待した程の研修効果は認められなかった。これは研修員に建設、保全等業務についての基礎知識が欠けていたことが原因である。しかし、科目別の個別研修はこの点を補う点で相当な効果があった。

- (2) 上記コース中の日本語研修期間は短かすぎる。20日間では十分とは言えず、2か月程度に延長されたい。また、イラン人は必ずしも英語が上手ではないので、日本語研修は非常に有益であると考えている。

- (3) 上記コースの実習は全期間同一機関で実施した方が効果的である。長年の経験と、十分な設備をそなえている組織の方が好ましい。

- (4) コーディネータの技術的背景のない場合の通訳は不完全である。(この場合もイラクと同意見であった。)

- (5) 各コースにインスペクター制度を設けた方がよい。これはコース責任者以外にインスペクターを配置して、コース全般にわたって「アドバイス」を与え、研修内容の向上を計るための制度である。

- (6) 各コースの中心的科目には、さらに時間をかけることが望ましい。研修員全員に対して満足を与えるためには、総花的になり勝ちであり、また、関連科目もある点は理解できるが、主要科目の時間が不足している。



2月1日

イラン電気通信研究センターにて



2月5日

イラン電気通信研究センター
交換研究室にて



2月1日

P T Tにて



2月9日

帰国研修員との懇談後の
記念撮影

3 トルコ

3-1 トルコの通信事情等

トルコは78万km²の面積で、日本の約2倍強の国土である。首都をアンカラ（約200万人）におき、イスタンブール（約400万人）はアジアとヨーロッパ文明が混在している古都として知られている。

電気通信はMinistry of Communications（運輸通信省）が管理しており、実際の運営はP T Tが国内・国際電信電話全般にわたって業務を担当している。電話加入数は約60万と言われ、そのうち、アンカラ市は10.7万加入、積滞が15万件、電話管理局の職員数は4,500人である。一方、イスタンブール地区には現在電話局が35局、25万の加入者があるのに対して、5年後には50万加入に倍加する計画である。国際通話の80%、国内通話の30%以上がイスタンブール地区に集中しているが、回線状態は満足とは言えない。

電気通信研究開発センターは1965年に設立された。現在6,000m²の敷地を20,000m²に拡張中である。このセンターには約400人の職員がおり、P T T直営工場の管理運営を行なうと同時に、裸搬装置およびV H F機器をも製造している。

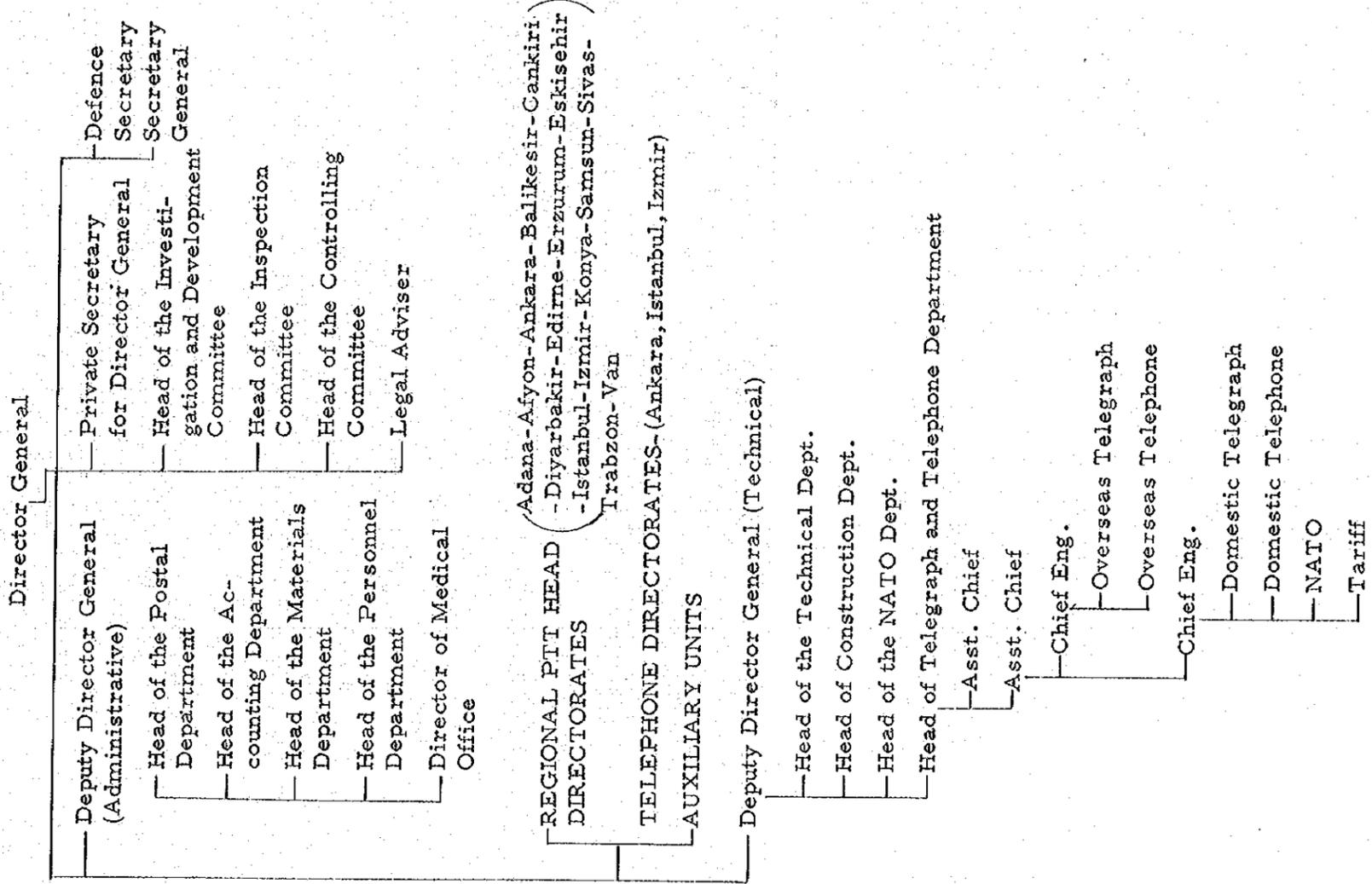
電気通信訓練センターは1968年にI T Uの協力によって設立され、現在、教官約50人によって年間500人程度の生徒を訓練している。さらに、トルコ国内に5か所の訓練センターを建設予定であり、一部すでに着工している。



2月7日

トルコ運輸通信省次官補と共に

表3-2
トルコ PTT 組織図
BOARD OF DIRECTORATE



3-3 面接者リスト

○ トルコ運輸通信省

(Ministry of Communications)

1 Mr. Ali Tracli Assistant Under-Secretary,
Ministry of Communications

○ トルコ郵電省

(Department of Posts, Telegraphs and Telephones)

1 Mr. Naci Ünver Director General of PTT

2 Mr. Ergun Örcün Deputy Director General of
PTT
(167 幹部セミナー)

3 Mr. Seyfettin Akcaharman Advisor to the Director
General of PTT
(171 幹部セミナー)

4 Mr. Emin Baser Director, Ankara Telephone
Directorates
(168 テレックス)
(173 民間ベース)

5 Mr. Tekin Baysan Assistant Director, Ankara
Telephone Directorates

6 Mr. Hikmet Tamer Assistant Director, Ankara
Regional PTT Head
Directorates

7 Mr. Haydar Ölmezoglu Director, Izmir Telephone
Directorates

8 Mr. Mehmet Güler Chief Maintenance Engineer
Ankara Telephone Directorates

9 Mr. İlhan Sargut Director of Ankara Toll
Telephone Office
(167 国際電信電話業務)

10 Mr. Armagan Bigat Assistant Director, Tele-
communication Training
Centre

11 Mr. Muammer Yüceözsoy Engineer, Chief of Radio-Link
Group

- | | | |
|----|------------------------|--|
| 12 | Mr. Ferit Arpacı | Assistant Head, Technical Dept.
(175 幹部セミナー) |
| 13 | Mr. Rahmi Konuskan | Chief Engineer, Outside Plant Planning Dept., Ankara Telephone Directorates
(164 電話線路) |
| 14 | Mr. Erol Baskak | Assistant Director, Technical Dept.
(167 電話線路) |
| 15 | Miss Nilüfer Gürler | Carrier Telephone Chief Engineer, PTT
(176 搬送) |
| 16 | Mr. Altan Egerci | Telegram & Telephone Dept. Chief Engineer
(175 国際電信電話業務) |
| 17 | Mr. Ali Alpay | Radio-Links Satellite Communication Dept.
(175 衛星通信) |
| 18 | Miss Emine İnci Öztürk | Engineer, Radio-Links, PTT
(176 短波無線) |
| 19 | Mr. Vahit Uzal | Chief Engineer, Microwave Planning NATO Dept.
(165 民間ベース) |
| 20 | Mr. Fikret Yücel | Director, Research and Development Laboratories |
| 21 | Mr. Ersen Kinayyigit | Assistant Director, Research and Development Laboratories |
| 22 | Mr. Attila Algan | Engineer, Multiplex Equipment Section, Research and Development Laboratories
(176 マイクロウェーブ) |
| 23 | Mr. İrfan Süzek | Director, Istanbul Telephone Directorates
(164 国際電信電話業務) |

- | | | |
|----|---------------------------------|---|
| 24 | Mr. Ozhan Erer | Assistant Director
Istanbul Telephone Directorates
(Network)
('75 民間ベース) |
| 25 | Mr. Rustü Altaner | Assistant Director, Istanbul
Telephone Directorates
(Administration) |
| 26 | Mr. Baykut Olcay | Chief Engineer, Project Dept.,
Istanbul Telephone Head
Office
('70 電話線路) |
| 27 | Mr. Yusuf Ziya Taskiran | Chief Maintenance Engineer,
Istanbul Telephone Head
Office
('66 民間ベース) |
| 28 | Mr. Özhan Kumbasar | Chief Network Engineer,
Istanbul Telephone Head
Office
('67 民間ベース) |
| 29 | Mr. Saltuk Gursel | Chief Engineer, Maintenance
Network
('76 民間ベース) |
| 30 | Mr. Ismet Karel | Assistant Director, Istanbul
Telephone Head Office |
| 31 | Mr. Fehmi Sökmener | Assistant Director, Istanbul
Telephone Head Office |
| 32 | Mr. Bahadır Bahadıroğlu | Director, Istanbul Regional
PTT Head Directorates |
| 33 | Mr. Mustafa Dündar
Karaoglan | Director, Istanbul Telegraph
Bureau |

2月10日
イスタンブール電気通信研究開
発センターにて



2月7日
P T T 総裁室にて

2月10日
イスタンブール
P T T 幹部との懇談会



3-4 調査内容

トルコでは運輸通信省次官補をはじめ、P T T総裁等のトップレベルの幹部および帰国研修員合わせて33名と面談を行なった。トルコへの技術援助の一環として国家水利庁、鉱物検査庁、イスタンブール水産高校などに対する専門家が派遣されており、極めて好評の様様であるが、電気通信分野での専門家は皆無である。この点についての打診をも含めて運輸通信省次官補と会談したところ、次のとおり要請があった。

- (1) 電気通信分野において、N T TおよびK D Dと国際面で協力したい。
- (2) 電気通信訓練センターの教育を指導、訓練する線路担当専門家を派遣されたい。
- (3) 1978年1月稼動予定で、K D D茨城地上局と同規模のアース・ステーションを建設中である。このステーションの運営管理を行なう専門家を派遣されたい。
- (4) トルコ電気通信訓練センターへの協力はトルコだけにとどまらず、中近東諸国全体への協力と理解されたい。

3-5 要望事項

- (1) マイクロ網計画、線路技術の各集団コースおよび国際電信電話業務コース、放送管理コースにそれぞれ1名応募したい。
- (2) 幹部セミナーと各技術集団コースの中間レベルに当たる電気通信全般にわたるコースの設置を希望する。
- (3) イスタンブール局では、ガス圧封入ケーブルおよび同軸ケーブル方式に関する個別研修が必要である。特にイスタンブールにはトラヒックが集中しており、線路設備に対する整備が急がれているので、数名の同時研修が望ましい。
- (4) 幹部セミナーのテーマに「未来の技術」を組入れられたい。

3-6 研修コースに対する評価

- (1) 日本の研修コースは極めて有効であるので、できるだけ多くの技術者を参加させたい。(P T T総裁)

- (2) 幹部セミナーでの自由討論は最も有益であり、全員を満足させている。
- (3) 講師に語学力が足りない場合は、指導上の手法によって補うよう努力を期待したい。
- (4) 集団コースの技術レベルは研究職にとっては適当でなく、研修効果が全く認められないケースがあったのは残念である。(1976年マイクロ集団コース参加者)
- (5) 集団コースでは英語能力のある研修員がコースの主導権を握り、他の研修員の意志にかかわらず片寄った行動をとり勝ちである。との意見があった。

3-7 技術照会

イスタンブール地区電話管理局長から特に次の技術照会が現地であった。

イスタンブール市の中心にあるボスフォラス海峡に、TAHTAKALE局～KADIKOY局間中継線増設工事7kmの一部として海底同軸ケーブル約2kmの布設が予定されている。現在、同海峡に海底水道管布設工事が日本の企業によって実施されているので、海底同軸ケーブルの同時施工を日本国に依頼したいが、この海峡の潮流の速さ、方向および水深などが障害として考えられるため、海底ケーブルの施工上の技術的可能性について非公式に検討されたいとの依頼があったので、関係資料を持ち帰った。本件が技術協力の契機ともなれば幸いである。

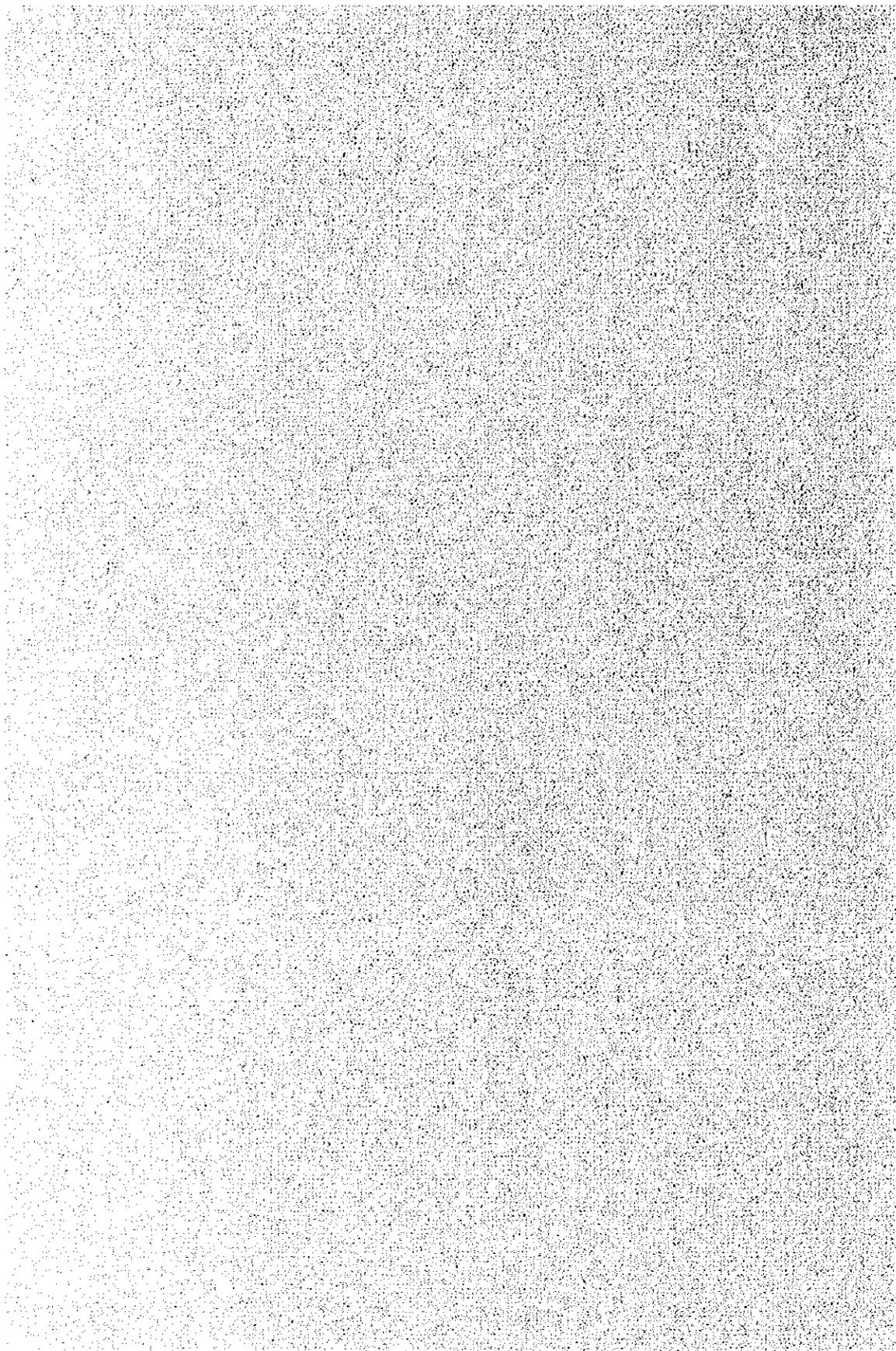
4 結 び

電気通信網の整備拡張は開発途上国の重要な「インフラストラクチャー」として経済発展上欠かせないものである。各国ともそのための技術者の訓練に対して極めて強い関心を示している。技術者の質的水準は向上しているものの、まだ技術者の層はうすい。日本はこれらの国々に対する電気通信サービスの向上のための技術協力に貢献してきたが、日本に対する研修上の期待は近年ますます大きくなっている。各国の政府高官などとの面接を通じて、日本の技術協力の一環として実施した研修が高く評価されていると同時に、今後とも日本に期待を大いに寄せられていることを心強く感じた次第である。しかしながら、一方では、研修コースに対する要望、改善意見も多々見受けられるので、これら要請に応えるべく、手近なものから改めて行く努力が必要であろう。

また、海を越えて派遣されるこのような巡回指導班は、日本の技術協力の積極的な姿勢を示す上において重要な手段であり、今後とも継続して回を重ねる必要のあることを痛感した。

最後に、今回の巡回指導に際してご協力を賜った在外公館及び国際協力事業団海外事務所の関係各位に対して深甚の感謝を表したい。

参 考 资 料



(参考資料 1) 帰国研修員に対する質問書 (幹部用)

QUESTIONNAIRE (A)

Please write in block letters or typewrite.

FULL NAME: _____

POST : _____

- 1 i) Please comment on as to how training programmes in Japan have influenced your participants.
- ii) Please compare our training programmes with those of other foreign countries.
- 2 i) Do you still have needs in your organization for personnel training? If so, what are required in Japan (field, number of personnel, etc.)?
- ii) In what way do you desire the training in Japan to be performed?
- 3 i) What is your policy or standard in selecting the trainees to be sent to Japan?
- ii) How do you choose the candidates to be sent to Japan?
- 4 Do you have any other problems concerning our training? If so, please describe.

QUESTIONNAIRE (B) (一般研修員用)

Please write in block letters or typewrite

FULL NAME: _____

PRESENT POST: _____

COURSE ATTENDED: _____

YEAR ATTENDED: _____

- 1 Please give us any comments on or suggestions to the training in Japan?
- 2 Do you have any technical problems in your work?
If so, please describe.
- 3 Compare our programmes with those of other foreign countries. (If you have such an experience)
- 4 Requests to the Government of Japan.

Do you have any requests to JICA (former OTCA), MPT (Ministry of Posts and Telecommunications) or NTT (Nippon Telegraph & Telephone Public Corporation) concerning the training programmes?

(参考資料2)

年度別・国別・コース別研修員受入れ数一覧

国名	コース名	年度															計
		1963	'64	'65	'66	'67	'68	'69	'70	'71	'72	'73	'74	'75	'76		
イラク (18名)	電気通信幹部セミナー			1						1				1		3	
	マイクロウェーブコース										1	1	1	1	4		
	搬送電話コース			1	1									1	3		
	電話線路コース							1	2					1	1	5	
	電話交換コース												1	1	1	3	
イラン (52名)	電気通信幹部セミナー					1			1	1		1		1		5	
	マイクロウェーブコース	1	1	1	1	1		2	2		1		1	2		13	
	搬送電話コース		1		1	1	1		1		2		1		1	9	
	電話線路コース			1						1	1	1		1	1	17	
	電話交換コース						1	1			1	1	1	2	1	8	
トルコ (15名)	電気通信幹部セミナー					1				1				1		3	
	マイクロウェーブコース				1	1						1	1	1	5		
	搬送電話コース			1										1	2		
	電話線路コース		2		1		1		1						5		
	電話交換コース														—		

(参考資料 3) 帰国研修員名簿

IRAQ

④ Age は研修時の年齢である。

No.	Name	Age	Present Position	Training Year
o Seminar on the Telecommunication Management				
1	Mr. Abud All Sattar Farman	37	Unknown	1965
2	Mr. Jamil Gergis Hanna	44	Retired	1971
3	Mr. Abdul Saiid Jamil Tarish	35	Director of Baghdad Central Post	1975
o Microwave Communication Engineering Course				
1	Mr. Ali Yousif Shahtoor	29	Maintenance Engineer, Coxial Cable Dept., PTT	1973
2	Miss Huda Neamah Balal	25	Communication Engineer in Basrha, PTT	1974
3	Mr. Saeed Gorgees Yousif Allos	32	Technical Supervisor, Transmission Station, PTT	1975
4	Mr. Benyamin Yaco Sarmis	28	Instructor in Microwave Section, Telecommunication Training Centre, PTT	1976
o Carrier Telephony Engineering Course				
1	Mr. Jawad Muhsin Jawad	37	Carrier Installation and Maintenance Engineer, Posts, Telegraphs & Telephone Administration	1965
2	Mr. Aziz Akif Al-Ani	27	Retired	1966
3	Mr. Salman Hussain Ali	32	Maintenance Engineer, Abu Ghuraib Transmitting Station, PTT	1975

No.	Name	Age	Present Position	Training Year
o Telephone Outside Plant Engineering Course				
1	Mr. Abdul Jabbar Hassan Khalaph	37	Director of Quantitative Planning, PTT	1969
2	Mr. Sabah Jihad Zaidan	29	Head of Project Dept., PTT	1970
3	Mr. Nadem Ali Huddan Tabana	30	Head of Cable Dept., PTT	1970
4	Mr. Masood Jamil Habi	34	Maintenance Engineer, Telephone Department, PTT.	1975
5	Mr. Nawaf Nalf Abdulla Al-Ahmedi	36	Technical Inspector, PTT Administration	1976
o Telephone Switching Engineering Course				
1	Mr. Habib Jawad Salman Al-Battatt	32	Head of 4th Technical Division Telephone & Telegraph Hilla, PTT Administration	1974
2	Mr. Abdul Ridha Kadhum Al-Defaay	30	Director, Telephone and Telegraph Affairs, Kerbala, PTT Administration	1975
3	Mr. Sadi Hadi Mohammed	37	Telephone Exchange Inspector, Posts & Telephone Dept. PTT	1976

I T U Fellows (I R A Q)

No.	Name	Age	Present Post	Training Year
1	Mr. Abdul Sattar Mahdi Hindi Al-Bemani	30	Assistant Engineer, Project Dept., PTT	1974
2	Mr. Ibrahim Mohammad Al-Jumaili	33	Carrier Engineer, Telecommunication Training Centre	1974
3	Mr. Nayle Yacoud Mansour	30	Lecturer, Microwave Section Telecommunication Training Centre, PTT	1974
4	Mr. Abdul Rasool Hassan Al- Dujaily	27	Transmission Section, Telecommunication Training Centre, PTT	1974
5	Mr. Hazim Wadi Abdullah	40	Chief Engineer, Design Section, PTT	1968
6	Mr. Artin Serkis Pushian	24	Left from PTT	1968
7	Mr. Adnan Chaichan Al-Khafaji	24	Head of Transmission Section, Telecommuni- cation Training Centre	1968 1975
8	Mr. Saad Elwee Hassan	26	Instructor, Network Section, Telecommunication Training Centre, PTT	1975
9	Mr. Amjad Mansour Rabban	25	Instructor in the Automatic Switching Section, Tele- communication Training Centre, PTT	1975

IRAN

No.	Name	Age	Position	Training Year
o Seminar on the Telecommunication Management				
1	Mr. Ghassem Shakibnia	44	Administrative Director General of Telecommunications, PTT	1967
2	Mr. Bahreinian Ali-Reza	43	Director General of Planning and Programming, PTT	1970
3	Mr. Majid Herischi	39	Director General of Telecommunications, PTT	1971
4	Mr. Massood Massoodi	43	Chief, Nadjafabad Radio Receiving Station, Telecommunication Company of Iran	1973
5	Mr. Hassan Mansoor Mansoorshahee	46	Director, Project Support Dept., PMO, PTT	1975
o Microwave Communication Engineering Course				
1	Mr. Aminolla Hakinian		Overseas Radio Telephone PTT	1963
2	Mr. Hussain Kashiniri		Supervisery of a Maintenance Centre of Microwave Telecom. Office	1964
3	Mr. Mohammad Reza Parsa	23	Engineer in Service of Microwave Dept. PTT	1965
4	Mr. Ali Reza Baharainian	39	Chief of Technical Dept. Planning & Programme, PTT	1966
5	Mr. Mehdi Waleh	33	Director General of Wireless and Int'l Telecom. Dept., TCI	1967
6	Mr. Pour-Youssefi Kermani Abolfazle	35	Chief, Rushit Radio Station, Ministry of Information	1969

No.	Name	Age	Position	Training Year
7	Mr. Razaghi Reza	35	Planning Engineer, General Department of Planning & Programming, PTT	1969
8	Mr. Ali Hmzi Nejad	27	Engineer, Outside Broadcasting Section, National Iranian Television	1970
9	Mr. Hamid Neshat	25	Engineer, Outside Broadcasting Section, National Iranian Television	1970
10	Mr. Abbas Fatemi	33	Head of Installation Section, TCI	1972
11	Mr. Mohammad Fiezollahbeigi	27	Engineer of Microwave Division, Iran Tele- communication Research Centre	1974
12	Mr. Abloghasam Khalili	33	Chief Director, Kerman, PTT	1975
13	Mr. Vali Ollah Syed Ali Lavasani	33	Chief Engineer, Microwave Division, Tehran Area, PTT	1975

Carrier Telephony Engineering Course

1	Mr. Parviz Esharathi Hoghaddam		PTT	1964
2	Mr. Hossen Pour Randjbar Abdol Mehdi	30	Technical Official, Carrier Telephone Dept., PTT	1966
3	Mr. Naderi Abolghassem	37	Assistant Director, Integrate National Telecom. Dept., PTT	1967
4	Mr. Mahmoud Azemi	46	Chief of the Carrier Telephone Centre, PTT	1968

No.	Name	Age	Position	Training Year
5	Mr. Gholamreza Hooshyar Farzin	36	Chief Assistant, Instal- lation Dept., Telephone Company of Iran	1970
6	Mr. Bhaman Zandipour	25	Assistant Chief of Carrier Division, Telecommuni- cation Research Centre, PTT	1972
7	Mr. Ezzeddin Mahallati	40	Technical Deputy Director of PTT in Khoosistani Province, PTT	1972
8	Mr. Notgi Ali-Akbar	37	Telecom. Expert, protect support project, PMO, PTT	1974
9	Mr. Behrooz Jarrahi		Research Engineer, Iran Telecomm. Research Centre, PTT	1976

o Telephone Outside Plant Engineering Course

1	Mr. Taghi Sarir	46	Technical Assistant, Carrier Telephone Dept., PTT	1965
2	Mr. Hassan Mir Mohammed Sadeghi	37	Chief of Telephone Dept. in Esfahan, PTT	1971
3	Mr. Hassan Mansoor-Shahee	43	Director, Project Support Dept., PMO, PTT	1972
4	Mr. Massoud Micke Zolghadr	33	Chief of Dept. for Planning and Maintenance of Outside Plant, Telephone Company of Iran	1973
5	Mr. Mostafa Ebrahimi	28	Inspector, Outside Plant in ITA Telephone Dept, Program (TDP), Telephone Company of Iran	1976

No.	Name	Age	Position	Training Year
6	Mr. Abbas Karimy Yazdy	39	Network Planning Expert, Telecommunication Co. of Iran (TCI)	1976
7	Mr. Manuchehr Edalatian Toussi	36	Network Planning Expert, Local Cable Planner, Directorate of System Engineering, TCI	1976
8	Mr. Fazlollah Torabi	34	Head of the Junction Cable Planning Division, TCI	1976
9	Mr. Gholamreza Khorsandi	30	Head of the Junction Cable Planning Division, TCI	1976
10	Mr. Smaeil Shekarriz	29	Network Planning Expert, Local Cable Planner, TCI	1976
11	Mr. Kohankian Koupai Mohamad Taghi	33	Regional Manager of the Telephone Network Installation, TCI	1976
12	Mr. Hamidnejad Yousef	32	Assistant Manager of Management, TCI	1976
13	Mr. Mohamad Ebrahim Masnadi	32	Executive Technician of Outside Plant, TCI	1976
14	Mr. Abbaspour Tehrani Masoud	29	Executive Technician of Outside Plant, TCI	1976
15	Mr. Qumarc Chegini Sabzevarkhani	29	Network Installation Technician, TCI	1976
16	Mr. Taghi Shokrgozar Mir Mehdi	28	Network Installation Technician, TCI	1976

Telephone Switching Engineering Course

1. Mr. Mohamad Hassan Hodjattoleslami 35 Planning Engineer, Planning Dept., PTT 1968
2. Mr. Morteza Abdolreza 38 Director of Installation Dept., TCI 1969

No.	Name	Age	Position	Training Year
3	Mr. Navid Hooshang	35	Assistant, Long Distance Calling, TCI	1972
4	Mr. Farhad Sabahi	30	Planning Engineer, Planning Dept., TCI	1973
5	Mr. Faramarz Rastegar	26	Planning Engineer, Planning Tehran Exchange Office	1974
6	Mr. Mohammad Sadeq Memar Nahavendi	26	Electronic Expert, TCI	1975
7	Miss Ziba Fakheri Daryan	25	Telecommunication Engineer, 2M56 Project	1975
8	Mr. Esrail Eldad	28	Electronic Engineer of Telephone Switching Division, Iran Telecom. Research Centre, PTT	1976

TURKEY

No.	Name	Age	Position	Training Year
o Seminar on the Telecommunication Management				
1	Mr. Ergun Orcum	44	Deputy Director General of PTT	1967
2	Mr. Seyfettin Akcaharman	45	Advisor to the Director General of PTT	1971
3	Mr. Ferit Arpacı	48	Assistant Head of Technical Dept., General Directorate of Turkish PTT	1975
o Microwave Communication Engineering Course				
1	Mr. Yilmaz Okan	30	Retired	1966
2	Mr. Sener Keskin	28	Retired	1967
3	Mr. Frol Andic	27	Retired	1974
4	Mr. Celal Aral	31	Electronic Engineer, Turkish Radio Television General Directorate	1975
5	Mr. Attila Algan	26	Engineer, Multiplex Equipment Section, Research and Development Laboratories, PTT	1976
o Carrier Telephony Engineering Course				
1	Mr. Yilmaz Dagdeviren	27	Turkish Radio Television General Directorate (TV)	1965
2	Miss Nilufer Gurler	26	Carrier Telephone Chief Engineer, General Directorate of PTT	1976

No.	Name	Age	Position	Training Year
o Telephone Outside Plant Engineering Course				
1	Mr. Rahmi Konuskan		Chief Engineer, Outside Plant Planning Dept., Telephone Administration of Ankara	1964
2	Mr. Sptullah Agah Cokal		Engineer, Assistant District Director of Izmir PTT	1964
3	Mr. Erol Baskak	30	Assistant Director of Technical Dept., PTT	1966
4	Mr. Ibrahim Gunduz Kan	32	Retired	1968
5	Mr. Baykut Olcay	34	Chief Engineer, Project Dept., Istanbul Telephone Head Office	1968

(参考資料4)

在外公館等訪問先及び面接者一覧

1. 在イラク日本国大使館

Name	Position
佐藤 裕美	参事官
片桐 啓之	二等書記官
小倉 明	二等書記官
町田 文雄	三等理事官

2. 在イラン日本国大使館

井川 克一	特命全権大使
西崎 信郎	参事官

3. JICAテヘラン事務所

小泉 純作	所長
肥土 和彦	職員

4. 在トルコ日本国大使館

二階 重人	特命全権大使
松岡 康弘	公使
藤原 総由	一等書記官

Mr. U. Kutsal Engür

5. 在イスタンブール総領事館

篠村 巖	総領事
関根 重郎	領事

